

阿南中央図書館(仮称)設計の基本方針

[基本方針]

- 1 令和7年3月に策定した「阿南中央図書館(仮称)整備計画」第2章施設計画を十分に踏まえた上で設計を行うことを基本とする。
- 2 阿南市の新たな中央図書館として、最も重要な図書館サービスのあり方を十分に踏まえ、効率的な運営が可能となる設計を行うこと。さらに複合する機能については、図書館サービスとの連携による機能性の向上を目指した設計とすること。
- 3 留意すべき事項として、「コスト」、「維持管理」、「環境」に配慮した設計を行うこと。

●図書館機能

市民が生涯にわたり自ら学ぶことを支援する

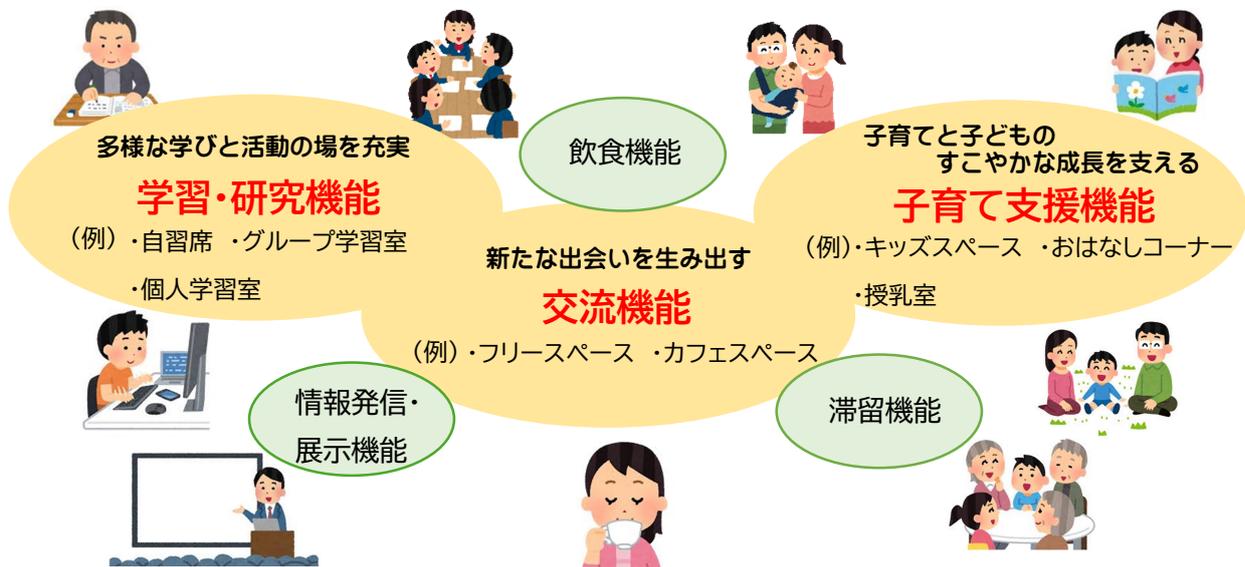
市民の読書推進活動や学びを支える
ネットワークをつくる

市民の読書活動と自発的な学びを支え、
豊富で多様な資料を提供する

市民の多様なニーズに応じた場を提供する

●複合機能

市民ワークショップやアンケートでニーズが多かった「学習・研究機能」「子育て支援機能」「交流機能」の3つを「主たる導入機能」とします。図書館に併設する機能として要望が多かった「情報発信・展示機能」「飲食機能」「滞留機能」は、「交流機能」と連携した形で設けることにより、相乗効果を高め、施設全体の価値を向上させます。



留意すべき事項

設計段階から、その後の建設、維持管理、運営までを考慮し、事業全体を見据えた設計を行うことが重要です。設計業務に当たっては、特に次の点に留意してください。

○事業コストへの配慮

1 トータルコストの縮減

整備コスト縮減のみならず、共用開始後の維持管理コストも含めたトータルコストの縮減を図る。

2 事業費高騰リスクの低減

物価高騰が続くなか、設計段階から整備コスト高騰に対しての十分な配慮と対策を行う。

○維持管理

耐久性に優れた部材や、長期間メンテナンスが容易である外壁等の使用、維持管理がしやすい設備の導入にも配慮する。

○環境や脱炭素への配慮

環境に配慮した施設・設備を導入し、ZEB-ready 認証を取得する。